

アメリカで英語を勉強する際のポイント

自分に合った英語教育プログラムを見つける革新的な方法

ダニエル・ジャニック氏とジョエル・ウィーバー氏によると、英語学校の選び方について書かれた本は、残念ながら高度な英語で書かれていることが多いと言う。彼等曰く、難しい英語で書かれた本で理解ができるのであれば、第一英語を学ぶ必要は無い、のである。彼等の出版した「アメリカで自分に合った英語学校を見つける方法—学校を決める上での重要となる33の質問」はユニークかつ、分かり易い参考書である。

この本は6つの言語（英語、日本語、韓国語、中国語、スペイン語、ドイツ語）で書かれており、全米で4000の英語学校、英語教育プログラム、個人指導教授を探す上で、大切なアドバイスが書かれている。

これまでの教育経験により、英語を学ぼうと考える人々にとって、一番難しいのは、数多い選択肢の中から選ぶ際に”自分が何を求めるべきなのか”という点であることが分かった。

この本は6セクションに分かれており、セクションごとに違う言語で書かれている。それぞれのセクションに、英語訳も書かれているので、読者が実際に問い合わせをする際に、メールやレターに書き写すことが可能である。また、すべての章が2つの序章で始まり、1つめはアメリカで英語を勉強する場合についてと、もう一つは、自分に合った質問事項の選び方についてとなっている。

残りの章では、セクションごとに、以下の題材について述べられている。

- 教育の品質を問う際の質問のポイント
- アメリカ内での地域格差にまつわる情報
- キャンパス、施設の特徴
- 実践的問題、食べ物にまつわる情報
- 宿泊施設、費用
- 実用的なインターネットリンク

この本は、英語を第二言語とし、アメリカで英語を学ぶ者にとって欠かせない一冊である、と著者は述べている。

医師であり、教育者でもあるジャニック氏は、ハワイ州ホノルルにあるインターカルチュラル・コミュニケーションズ・カレッジにてアカデミック・イングリッシュを教えている。また非常勤講師として、ハワイ・パシフィック・ユニバーシティーにてライティングを、またアーゴシー・ユニバーシティーにて心理学を教えている。

インターカルチュラル・コミュニケーション・カレッジのディレクターであるウィーバー氏は、ハワイ大学にてESLクラスを非常勤講師として教えている。